

9月29日 (土)

午後1時30分～5時

資料代500円

会場: 港区立商工会館2階研修室

東京都港区海岸 1-4-28 / 電話: 03-3433-0862

【最寄り駅】 JR浜松町駅北口から徒歩 7 分 都営地下鉄浅草線

・大江戸線大門駅 B2 出口より徒歩 10 分



◇講演

731部隊問題, 克服への道 — 軍医博士論文の検証と 『留守名簿』公開の意義 —

講師: 西山勝夫さん (滋賀医科大学名誉教授)

*参考資料『留守名簿 関東軍防疫給水部』(不二出版全2冊 編・解説 西山勝夫)

コメント: 近藤昭二さん (ジャーナリスト)

西山勝夫氏は「満州第 731 部隊軍医将校の学位授与の検証を京大に求める会」の事務局長を務める。同会は 731 部隊所属の平澤正欣軍医が戦時中に申請した博士論文(「イヌノミのペスト媒介能力に就ての実験的研究」)中の実験動物のサルが実はヒトではなかったかと疑問を提起し、もしヒトでないことを確認できないのならば学位授与を取り消すように求めている。

今年 7 月 26 日、同会は京都大学を訪ねて要請書を提出した。これに対し京大は学内の機関で検討して 9 月上旬に答える旨回答した。

また西山氏は国立公文書館に 731 部隊に関する公文書の公開を求めてきたが、最近、関東軍防疫給水部の『留守名簿』を公開させた。西山氏はこれを 4 月に公表し大きな反響を呼んだ。

講演では、西山氏が取り組んでいる 731 部隊所属軍医の博士論文検証問題と『留守名簿』公開の意義などについて語っていただく。

《未だに政府は731部隊の残虐行為を認めず! 今、政府・自衛隊は生物戦研究を推進!》

日本は 1931 年から 45 年まで中国を全面侵略したが、この間に軍民併せて 2 千万人という膨大な中国人の犠牲者を出した。731 部隊による人体実験と細菌戦も日本が中国で犯した重大な残虐行為の一つである。

日本軍は 1932 年「満州国」樹立直後からハルビン郊外に細菌戦部隊の基地を作り始め、細菌兵器の研究・開発を開始した。更に細菌戦を 1939 年のノモンハン事件を皮切りに 1940 年、41 年、42 年と中国の浙江省や湖南省等で実行した。しかし未だに日本政府は、731 部隊が人体実験や細菌戦を行った事実を全く認めない。他方で政府・自衛隊は、現在テロ対策を口実に多額の予算を取って公然と生物戦研究を行っている。

731部隊問題・関連訴訟の裁判日程

皆様の傍聴をお願いします!

- ① ビザ発給拒否・集会妨害国賠訴訟 (第10回)【東京地裁民事第1部】/ 9月21日(金)11:30/地裁415号法廷
- ② 化学学校記事情報公開裁判 (第9回)【東京地裁民事第3部】/ 9月26日(水)16:00/地裁522号法廷
- ③ 衛生学校記事情報公開裁判 (第19回)【東京地裁民事第51部】/ 10月18日(木)11:00/地裁419号法廷
- ④ 安倍靖国参拝違憲訴訟 (第3回)【東京高裁第10民事部】/ 10月25日(木)13:30/高裁101号法廷

*①と④の裁判では浙江省と湖南省の細菌戦被害者が原告になっています。

2018.8.24

主催: NPO法人731部隊・細菌戦資料センター

共同代表 近藤昭二(ジャーナリスト)・王選(細菌戦犠牲者遺族、上海交通大学客員教授)・松井英介(医師)

◆お問い合わせ: 一瀬法律事務所: 東京都港区西新橋 1-21-5 / Tel: 03-3501-5558 Fax: 03-3501-5565 / 担当元永(もとなが)、小田

Email: info@ichinoselaw.com / ◆ Website: http://www.anti731saikinsen.net/